

ぼちぼちいこか

学校だより9月号

2023.9.1 発行



教育理念
生きる喜びを抱き
自ら学びを拓く



学校に行くのが楽しい

校長 大谷 京司

立秋を過ぎても厳しい暑さが続いています。学校のお隣の栗畑にはぶっくりとした見事な栗がいがから顔をのぞかせていました。確実に季節は移ろい、生きとし生けるものすべてが間違いなく成長していることを実感します。

新学期の子どもたちのたくましさを増した表情を見ても、様々な体験を通して満喫した休みを過ごしたのだろうと感じることができました。2学期、新たな気持ちでどんな学校生活をみんなで創り出していけるのかとても楽しみです。

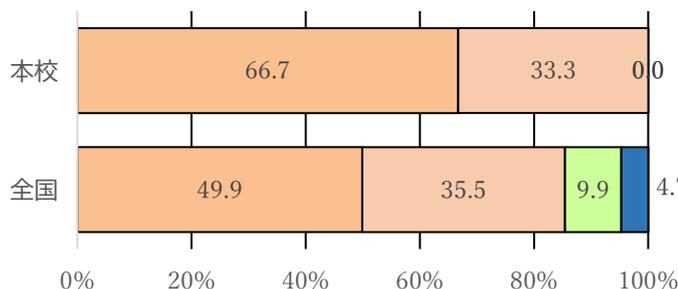
今年の4月に現6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が報告されました。国語・算数の個々の結果については、担任より説明をしながらフィードバックいたしますが、児童質問紙における回答で本校の特色を示していると思われるものをいくつか紹介いたします。



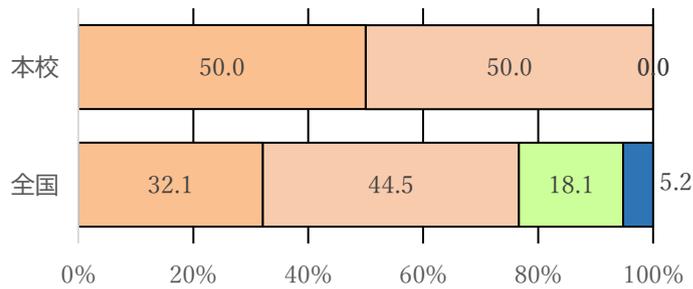
◆令和5年度全国学力・学習状況調査 児童質問紙(問題とは別の児童に対するアンケート)より

当てはまる どちらかといえば当てはまる どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

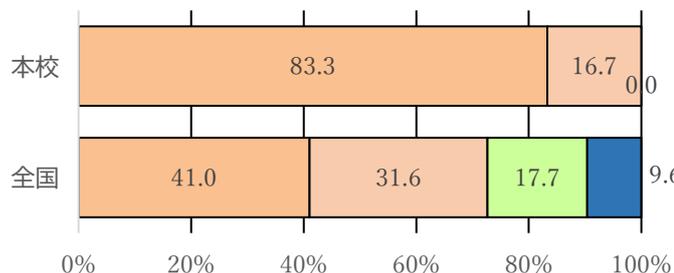
12 学校に行くのは楽しいと思いますか



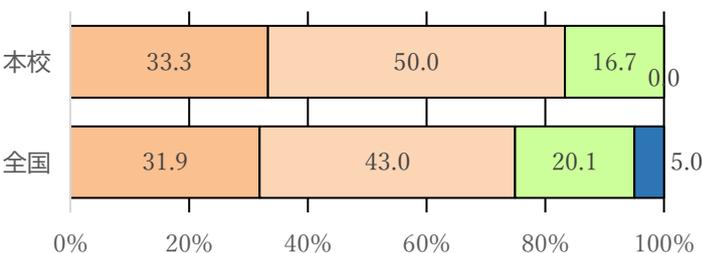
14 友達関係に満足していますか



27 外国人と友達になったり外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか



39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



新たに蘇ったファミリーフェスタ

コロナの影響でここ数年、従来の形から大きく姿を変えて実施してきたファミリーフェスタ。今年度は、七沢幼稚園、七沢希望の丘初等学校の保護者が組織するひまわり会とエスポワールに中心となっていたが、飲食などの出店も含むコロナ前の盛大なフェスタとして蘇ることができました。

コロナ以前の状況をよく知っている方も少なくなる中、何度も話し合いを重ね、準備や当日の運営、片付けまで行っていただいた保護者会の皆様には本当に感謝いたします。



子どもたちも、今年は縦割りの各グループで自分たちがフェスタでどんなお店を出したいか何度も話し合い、準備を進めてきました。4グループともゲームのお店を出したいということになりましたが、その内容はボウリングや輪投げ、釣り、弓矢で的あてなど子どもたちが1から考え、実に様々でユニークでした。



学校を代表するおみこし製作は今回有志が担いました。

年間テーマ「見えないもの」から子どもたちが発想したのはハート形の地球で、地球上のいろいろな生き物が心でつながっている様子が表現されており、見る者の気持ちをほっこりとさせる傑作でした。



当日は、在園児や在校生、保護者に加えて卒園児や卒業生も多く顔を見せてくれました。内田学園の創立をお祝いするファミリーフェスタが過去から現在に至る子どもたちを引き合わせ、みんなを笑顔にするとともに、また新たな絆を紡いでくれると考えるととても大事な行事であると改めて実感しました。



当日のゲームはどれも1回50円で



でしたが、子どもたちのゲームコーナーの総売り上げが、8,750円。さらに野菜販売も子どもたちが自分で値付けして、その売り上げが11,460円でした。

これらの収益金は、修学旅行の費用に充てさせていただきます。



今回、6年生の修学旅行は、北海道の歴史に基づいた様々な文化を学んできたいということで計画を進めています。

